

12月の予定		
1	金	YY
2	土	
3	日	
4	月	クリスマス会リハーサル③
5	火	Enjoy English
6	水	音楽・運動・茶道
7	木	
8	金	
9	土	★クリスマス会
10	日	
11	月	
12	火	Enjoy English
13	水	音楽 内科健診
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	YY
19	火	Enjoy English
20	水	音楽・運動・茶道
21	木	
22	金	
23	土	天皇誕生日
24	日	
25	月	
26	火	特別保育 (※要申込)
27	水	特別保育 (※要申込)
28	木	特別保育 (※要申込)
29	金	年末休園日
30	土	年末休園日
31	日	

### 1月の主な予定

- 1～3日 年始休園日
- 4・5日 年始特別保育 (要申込)
- 11日 鏡開き集会 (幼児クラス)
- 12日 おもちつき
- 18日 1・2月生誕生会
- その他 避難訓練・身体測定

# かのんだよい

平成29年

12月号

先日の懇談会には沢山の保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。園での様子を映像でご覧頂き、その後のクラス別の懇談の場では保護者の皆様にお家での様子などお話頂いて情報交換や意見交換ができて、楽しいひと時となりました。お忙しい中ご参加下さりありがとうございました。

さて、いよいよ2017年、平成29年も残りひと月となりました。最後の大きな行事、クリスマス会ももうすぐです。皆で一つの舞台を創り上げる面白さや、自分の役割を全うする達成感を子どもたち一人一人に感じてもらえると良いなと思っています。緊張や恥ずかしさに向き合う姿、表現することの楽しさを感じつつ頑張ろうとしている姿には感動します。この行事を通じてまたひとつ、成長の階段を上がっていく姿を援助し応援していきたいと思います。

### 年末年始特別保育申込みについて (再掲)

- ◆ 年末年始休暇 (12/29～1/3) は、休園日となります。
- ◆ 年末特別保育：12/26(火)～28(木)
- 年始特別保育：1/4(木)～6(土)

上記期間は特別保育となりますので、ご事情がない限り家庭保育をお願いします。ご事情がある方は、事前申し込みをお願いします。申込み用紙は11月24日(金)からエントランスにお出しします。締切日 12月8日(金)までに園用ポストに入れてお申し込み下さい。

### クリスマス会リハーサル 12/4(月)

3回目リハーサルの12月4日は、にじ組・幼児クラスの劇の集合写真及びスナップ写真撮影があります。お休みの際はご注意ください(つき組・そら組・幼児クラス合奏・たいよう組ページェントは、前回リハーサル時に撮影済みです)。

### 園からのお願い

- ◆ 新しくなった正面口の門扉ですが、指詰め防止のために、扉が全開にならないようクッション材を後から付けています。しかしこれが原因で、扉を無理に大きく開けてしまうと、ヒンジ(ちょうつがい)部分に偏った負荷がかかり、門扉が壊れてしまうようです。
- そこで、門扉の開閉は、保護者の方が行って下さるようお願いいたします(正面玄関の扉も同様です。子どもが手すりノブに足を掛けて開錠しようとする姿を見かけることがありますが、おやめください。)

### ◆ 駐車場について

- ・ 子どもだけを残して車から離れないでください。
- ・ 出口側のシャッターの枠(ガイドレール)部分が、車での衝突により歪んでしまっており、シャッター開閉に不具合が生じています。入出庫の際は十分お気をつけ下さるようお願いいたします。また、もしぶつけてしまった場合は、園まで申告をお願いいたします。

※ 業者からはシャッター交換を勧められていますが、かなり高額な費用がかかってしまうため(出口側だけでも300万円以上!)、すぐに交換ということできません。現在は応急処置で動いている状況ですが、急に開閉ができなくなるということは今後も可能性として考えられます(いきなり朝開かないなどの事態はあり得るかもしれません)。しかし今のところ開閉以外では問題ありません(安全面でも問題ありません)ので、しばらく様子を見ながら色々な手段を検討させていただきたいと思います。

## ～育児のヒント『子どもを伸ばす声かけや援助』～

子どもは周りの環境からありとあらゆることを吸収しながら(吸収する心)成長していきます。これはすべての子どもに備わっている生まれ持った成長への力です。私たち大人の役割と使命は、子どもの「自分育ての道」を知り適切な援助を行うことです。

### ★「だめだめ！」という一方的な禁止や罰では育ちません

しつけは善悪だけで判断したり押し付けたりするものではありません。大人の役割は、やってあげるのではなく、子どもが自分の力を出せるようにお手伝いするなど環境を整えることです。子どもは生まれながらにして自分で自分を育てる力や磨く力を持っています。それを信じ、よい手本を見せ励ますことが子どもを尊重することです。

〈例〉 おやつが入っている食器を気を付けてテーブルに持って行くように言ったのに、ふざけながら走って持ち、転んでおやつをこぼしてしまいました。大好きなおやつがこぼれて食べられなくなってしまった上に転んでどこかぶつけたようで子どもは大泣きです。子どもにどんな声を掛けどんな対応をしますか？

まず怪我、捻挫などがないかを確認します。

「びっくりしたね、どこか痛い？」(幸い怪我はありませんでした)

### 子どもが学ぶのを励ます(援助する)4つのステップ

#### 1. 子どもがやってしまったことをはっきりさせます。

「おやつがこぼれてしまったね。」(決して叱ったり責めたりしません)

#### 2. 子どもを問題の当事者にします。

「食べられなくなってしまったから、片付けましょう」

#### 3. 子どもが自分で問題を解決できるよう援助する(選択肢を与える)

「この紙に捨ったのを入れるよ、一人でやる？それともお母さんが手伝った方がいい？」

(年齢により出来る範囲は多少違います。いずれにしても「あっちに行つて」と言って大人が

サッサと片付けるのではなく出来る範囲で何かの後始末ができるように援助します)

#### 4. 子どもの尊厳を傷つけない。

「もう一度運んでみましょうか。今度はきっと大丈夫」

年齢やその子によっては「お母さんも一緒に運びましょうか。それとも自分でやってみる？」と励ます。または「ゆっくり歩きましょう」「両手で持ちましょう」などピンポイントでアドバイスをします。

「転んだ」「おやつを落としてしまった」という2つの現実が子どもに失敗を伝えています。大人が、「ちゃんと持たないからよとか「走ったからよ」と言わなくても上手くいかなかったことが間違いを教えてくれています。

このように、他人に間違いを指摘されず自分で間違いを訂正していけるように援助していけば良いのです。

色々な場面で沢山の間違いに出会い、間違い訂正や解決に向かって自ら取り組めるようにお手伝いすることが、次の活動への意欲につながっていきます。